

草の根 通信

VOLUME

110

Kusanone Tsushin

[2022年3月発行]

写真一部はイメージです。

1845



1849



1916



1921



2010



2012



2014



2018



2022




特集

日米野球交流

日本伝来150年 ～ 野球と日米草の根交流サミット

- ・ 野球のはじまりと万次郎との接点？
- ・ CIE-US 理事メンバー推薦 アメリカで紹介したい「日本の野球」映画
- ・ アメリカから日本へ 野球の歴史年表

A young girl with long dark hair, wearing a white headband and a pink dress with a white diamond pattern, is smiling and looking back over her shoulder. She is in a busy outdoor market with various stalls and people in the background. The lighting is bright and warm, suggesting a sunny day.

彼女の名前はクロエ。
アジアの小さな町で暮らしています。
まだ誰にも言っていないけれど、
将来は、獣医さんになりたいそうです。

そんな女の子の毎日に、
私たちの仕事は役立っているだろうか。
三菱商事は、そんなことを考えます。
彼女の未来を考えることは、
この世界の未来を
考えることにつながっている。
そう思うのです。
仕事広がるほど、複雑になるほど、
その先にある一人の幸せを想う。
私たちは、三菱商事です。

世界とひとりのために。

日米野球交流

日本伝来150年 ～ 野球と日米草の根交流サミット

日本へ「ベースボール」がアメリカ人により伝わったのは、今から150年前のこと。現在では野球に興味のない方もイチローや新庄剛志、ゴジラ松井、上原浩治など、大リーグで活躍した選手の名前をご存知のはず。昨シーズンは大谷翔平選手（エンゼルス）が、ペーブ・ルースを超える勢いの二刀流で日本の朝に明るいニュースを届けてくれたことも記憶

に新しい。アメリカから伝わったベースボールは、今日の日本では国民的スポーツであり、メジャーリーグもすでに私たちの日常の一部となっているのではないのでしょうか。

これまで開催された「日米草の根交流サミット」でも「野球」を通じた交流が行われてきました。

2010年 サンフランシスコ&ベイエリア大会

パイオニア・ミュージアムにて日米交流に関わる展示や講演会が行われた

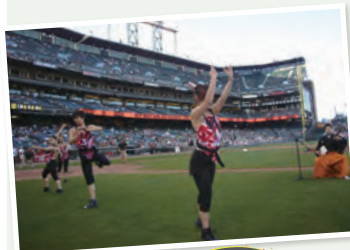
日本人メジャーリーガー第1号としてサンフランシスコ・ジャイアンツ(1964～1965)に所属した村上雅則氏による講演



トム・オドール氏(日本の野球界に影響をもたらしたレフティ・オドール選手の甥)によるスピーチ



サンフランシスコ・ジャイアンツの招待によるAT&T球場での野球観戦(サミット大会参加者・関係者約850名参加)



フィールド上でサミット大会関係者の紹介

宮城県から参加した生徒たちによるモダンダンスと津軽三味線の演技



2012年 ノース・テキサス大会

レンジャーズによるノース・テキサス大会の開催を記念する「日米フレンドシップ・ナイト」野球観戦への招待



上原投手、ダルビッシュ投手からサインをもらう岩手・宮城から参加した生徒たち



南三陸の水戸辺しおどり鹿子躍グループの高校生たちが勇壮な「鹿子躍」を披露



始球式に挑む石巻リトルシニア(ずがのまたかいと)野球団から参加の菅野又海士君

地域分科会で地元チームとの交流試合

体格の大きな選手を相手に、思い出に残る試合を楽しんだ



アメリカから日本へ 野球の歴史

1845

アレキサンダー・カートライトが現在の野球ルールの基礎を作る

この日「野球」が「ベースボール」記念日となる



1846

6月19日、公式に記録された最初の野球ゲームがニュージャージー州ホボークのエリシアンフィールドで行われた



1857

ニューヨーク地域で全米野球選手協会が結成
9人・9インング制などを採用



1858

南北戦争後、徐々に西部や南部にも野球が広まる



1859

最初のプロ野球協会が結成



1865

最初のオールスターゲーム

日本野球発祥の地モニュメント

現在の学士会館(千代田区神田錦町3-28)の敷地内に設置されている野球ボールを握った手のモニュメント。「この地にはもともと東京大学およびその前身の開成学校があった。1872(明治5)年学制施行当初、第一大学区第一番中学と呼ばれた同校でアメリカ人教師ホーレス・ウィルソン氏(1843～1927)が学課の傍ら生徒達に野球を教えた。これが「日本の野球の始まり」といわれている。(抜粋)」と記されている。



パドレス本拠地 ペトコ・パークでのオープニング式典

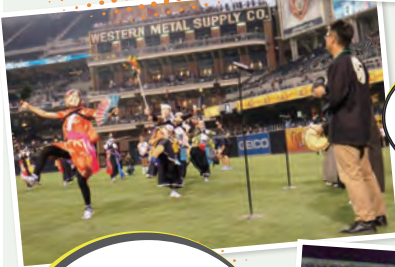


パーク内講堂で行われた開会式典での地球儀の交換式
ホイトフィールド船長6代目子孫スコット・ホイトフィールド氏と万次郎6代目子孫中村明日香氏

福島県広野町から参加のつちやまさし土屋昌君による始球式



試合前には、岩手県普代神楽保存会の中中学生による「七頭舞」が披露された



屋上で観戦をしながらの歓迎会を楽しんだ



野球のはじまりと 万次郎との接点？

今回、CIE-USと「日米野球交流の歴史」のウェビナーの開催が企画され、準備するにあたり、野球の歴史と日本に伝来する背景を調べ始めたところ、なんと、万次郎がアメリカにいる頃の話まで遡るのです。更に、資料の探索を進めると、野球の誕生から万次郎につながる史実について、日本野球殿堂入りもされている佐山和夫氏が書籍を出版されていました。

佐山氏の視点による「ベースボール」の基礎を作ったカートライトと万次郎の人生の枠が交差する展開を紹介します。

とても興味をそそる史実を、野球の始まりをきっかけに知ることになりました。



野球の父と呼ばれる人物の一人として知られるアレキサンダー・カートライト。イギリスに祖先を持つ彼にとって、野球の原型と言われるタウン・ボールは身近な娯楽球技だった。

イギリス南部の港から、マサチューセッツ州ケープ・コッドの南に位置するナンタ

『野球とクジラ カートライト・万次郎・ベースボール』(河出書房新社)

2018年 シアトル・ワシントン州大会

ローカル・オプション・ツアー (Cコース) セーフコ・フィールドを見学



イチロー選手が所属するマリナーズの球場内の普段立ち入りできないバックヤードツアーが用意された



2019年 兵庫・姫路大会

西宮市分科会 甲子園を見学



西宮市での地域分科会のプログラムの一つとして、阪神タイガースの本拠地、高校球児たちの聖地である甲子園球場を見学



1871 (明治4)

ホーレス・ウィルソンがベースボールを伝える

日本にベースボールが伝来



野球殿堂レリーフ

ホーレス・ウィルソン メイン州出身。南北戦争に志願兵として従軍した後、1971年9月にサンフランシスコで日本政府と契約し、英語教師として第一学区第一番中学(後の開成学校、東京大学の前身)に赴任。同校の学生に運動が必要と考え、野球を教えた。その後、1877年にアメリカに戻り、サンフランシスコに住んだ。図書館で働きながらサンフランシスコ市の運営にも携わった。1927年に84歳で亡くなった。

1872 (明治5)

ニューヨーク市で最初の黒人チームの試合が開催



1876 (明治9)

現在のナショナル・リーグが結成 京浜在住のアメリカ人との初の国際試合

1878 (明治11)

日本初の野球チーム「新橋アスレチック倶楽部」が結成

1894 (明治27)

ベースボールが「野球」と訳される



1901 (明治34)

現在のアメリカン・リーグが結成される

1905 (明治38)

慶応大がハワイのチームを招待し、国内初の有料試合に



1907 (明治40)

早稲田大の米国遠征、スタンフォード大との対戦は初の国際大学野球試合

1915 (大正4)

全国中等学校優勝野球大会(現在の夏の甲子園大会)が始まる

ケット島へ移住してきた彼の祖先は捕鯨業を営んでいた。その後、アレキサンダーの父の代でニューヨークへ移り住んだ際も、捕鯨に関わる保険などを扱っていたと言われている。

カートライトがマンハッタンで勤め始め、地域への社会貢献として消防団を結成させるも、集まったのは、オフィス勤めの体力の乏しい青年たち。体力づくりと団結力の育成を兼ねる「スポーツ」として、身近で楽しめたタウン・ボールのルールを改良しながら、現在の「ベースボール」へと進化させたとされている。

カートライトが野球のルールの基礎を作った1845年と言えば、万次郎もアメリカにいた。そして、不思議なことに、カートライトのその後の行動は、万次郎と重なるのだ。

消防団から派生した「ニッカーボッカーズ」がベースボールチームとして躍進している頃、カートライトは、ゴールドラッシュが湧き始めた1849年にカリフォルニアへ向かっていた。なんと、彼もまた、万次郎同様「フォーティ・ナイナーズ」の一人だった。陸路で大陸を横断したカートライトは、伝染病に悩まされ、金の採掘を早々に諦め、養生と新天地を求め、ハワイへ渡る。片や万次郎は、木材船に乗り込み、海路でサンフランシスコへ。金山で600ドルほどを稼ぎ、日本帰国を果たすため、仲間の待つホノルルへ向かっている。カートライトがハワイに到着してから約1年後のこととなる。

カートライトは、ハワイで貿易の業務に就くと、ハウランド家の仕事に関わることになる。ハウランドといえば、万次郎たちを助けたホイットフィールド船長が乗ったジョン・ハウランド号を所有した一家である。ハワイでのビジネスに成功したカートライトは、万次郎のハワイ到着

前に、すでに現地の有力者となり、デimon牧師やジャッド博士とも交流を持ち、デimon牧師が取り組んでいた学校や船員ホームの設立のための強力な支援者となっていた。

その後、万次郎は日本への帰国を果たすと、ペリー提督の日本遠征による開国後、通訳として咸臨丸に乗船し、ホノルルに寄港する。その際、使節団はカメハメハ4世に謁見している。そのような外交の席にはカートライトも出席していたと言う。となれば、万次郎とカートライトの二人は、意図せず出会っていたのに違いないと想像せずにはいられない。

佐山和夫氏

和歌山県出身。慶応大学文学部卒業。ノンフィクション作家。日本ペンクラブ会員。2021年野球殿堂入り。

主著に『ヒーローの打球はどこへ飛んだか』（TBSブリタニカ）、『わが名はケンブリック』（講談社）など野球のルーツと日本の開国についての著書が多数。

写真提供：公益財団法人野球殿堂博物館



野球殿堂レリーフ

資料参考：

- https://en.wikipedia.org/wiki/Alexander_Cartwright
 - https://en.wikipedia.org/wiki/History_of_baseball_in_the_United_States
 - https://en.wikipedia.org/wiki/Negro_League_baseball
 - <https://www.sfgate.com/news/article/U-S-Japanese-Baseball-History-It-Happened-in-2960627.php>
- 『中濱万次郎集成』川澄哲夫編（小学館）
 "Drifting Toward the Southeast" Junya Nagakuni and Junji Kitadai

CIE-US理事メンバー推薦 アメリカで紹介したい「日本の野球」映画!!

日本通を誇るCIE-US理事メンバーたちが、実際に見て感動したと勧めてくれたのが、この3点。英語での映画鑑賞もオススメです。特にドラマチックな高校野球は、アメリカでは見られない姿だと、興奮した感想が飛び交うほど。「高校野球」だけに焦点を当てたウェビナーも企画したい！と意欲的な声も。どうぞ期待！

<p>1968 『第50回全国高校野球選手権大会 青春』 英題：Seishun 監督：市川崑</p>	<p>1984 『瀬戸内少年野球団』 英題：MacArthur's Children 監督：篠田正浩</p>	<p>アメリカ映画 2006 『Kokoyakyu: High School Baseball』 監督：Kenneth Eng</p>
---	---	--

1920 (大正9)	1924 (大正13)	1927 (昭和2)	1929 (昭和4)	1931 (昭和6)	1933 (昭和8)	1934 (昭和9)	1936 (昭和11)	1943 (昭和18)	1944 (昭和19)	1946 (昭和21)	1948 (昭和23)	1949 (昭和24)	1953 (昭和28)		
協会の誕生	最初のプロチーム日本運動協会（芝浦協会）が誕生	夏の甲子園大会のラジオ実況放送開始	メジャーリーグで背番号を採用	全国選抜中等学校野球大会（現在の春の甲子園大会）が始まる	夏の甲子園大会のラジオ実況放送開始	ルー・ゲーリッグらメジャーリーグ選抜チーム来日	メジャーリーグのオールスターゲームが始まる	ベーブ・ルースらメジャーリーグ選抜チーム来日	日本初のプロ野球機構の日本職業野球連盟が創立	戦争激化で学生野球が中止	プロ野球も一時休止	学生野球、社会人野球、プロ野球が復活	横浜でプロ野球のナイターが始まる	SFシールズが戦後初の米プロチームとして来日	テレビの野球実況放送が始まる

2022年

CIE草の根交流イベント

3月～
4月予定

ウェビナー「日米野球交流(仮)」

7月頃

第2回日米草の根交流サミット
オンライン同窓会

サミット大会に参加したゲスト・ホスト・ボランティアの皆さん集合!

日米双方の懐かしいホストファミリーや新しい仲間たちと出会い、サミットの思い出や近況報告など、オンライン上での交流のひとつを過ごしましょう。



和歌山大会開催延期

2021年6月の開催が延期されていた「日米草の根交流サミット和歌山大会」は、2022年初頭からのオミクロン変異株の感染拡大による影響のため、再度延期となることが決定いたしました。

和歌山県庁のご協力のもと、和歌山大会の開催に向けて準備を進めてまいります。開催日程が決まり次第、お知らせいたします。

万次郎関連団体活動

11月6日(日) | 中浜万次郎国際協会主催「万次郎忌」墓参

2022年ジョン万祭りin土佐清水開催日決定!

11月12日(土) | ジョン万祭りin土佐清水市

2020年からのコロナ感染拡大のため中止されました土佐清水でのジョン万祭りが2年ぶり開催されます。

来々2023年は、フェアヘイブンでの開催

11月13日(日) | ジョン万サミットin土佐清水市



続々
企画中!

他、対面・オンライン・ハイブリッド交流など行動制限の緩和に合わせたイベントを企画しています。詳細は、HPやFBページでご案内します。

HP www.manjiro.or.jp/

FB www.facebook.com/manjiro.grassroots/

メールでのご案内をご希望の方は manjiro@manjiro.or.jp へご連絡ください。



ホームページ



フェイスブック



訃報

CIEの初期より評議員(1992-2012)、顧問(2013-2016)を勤めました川澄哲夫氏が去る1月31日にご逝去されました(享年93)。長きにわたり万次郎研究とCIEへの活動支援にご尽力くださいました川澄先生のご冥福を心からお祈りし、謹んで哀悼の意を表します。

野球殿堂博物館

野球伝来150年記念展 「第2期 1946-1988」開催中

3月18日～6月8日



野球伝来150年を記念し、日本の野球史を150のキーワードで振り返る展示を、3期に分けて開催しており、第2期では、戦後の復興から、野球が国民的スポーツとなるまでの歩みを紹介しています。

野球殿堂博物館

日本の野球での顕著な活躍や発展に寄与した人物に対して、その功績を称え顕彰する殿堂と、国内外の野球に関する多くの資料を収蔵、展示している。
東京都文京区後楽 1-3-61 東京ドーム 21 ゲート右側
<https://baseball-museum.or.jp/>

1964 (昭和39)	1984 (昭和59)	1988 (昭和63)	1992 (平成4)	1995 (平成7)	1996 (平成8)	2001 (平成13)	2004 (平成16)	2006 (平成18)	2008 (平成20)	2009 (平成21)	2020 (令和2)	2021 (令和3)
村上雅則投手(SFジャイアンツ)が日本人メジャーリーガー第1号に 東京オリンピックで公開競技として野球が開催	ロサンゼルスオリンピックの公開競技で全日本チームは金メダル獲得	日本初の屋根付き球場東京ドームが完成	正式種目となったバルセロナオリンピックで、日本代表が銅メダル獲得	日本人メジャーリーガー野茂英雄投手(ドジャース)が新人王に	アトランタオリンピックで日本代表が銀メダル獲得	イチロー選手がマリナーズが新人王・MVPに	アテネオリンピックで日本代表は銅メダル獲得	第一回ワールド・ベースボール・クラシック(WBC)で日本代表優勝	北京オリンピックで日本代表は4位	第2回WBCで日本代表連覇	コロナ禍でプロ・アマチュア野球でも多くのリーグ、大会が中止、延期となり、東京オリンピックも延期	競技復帰となった東京オリンピックで日本代表は金メダル獲得

Japanese Hospitality Wherever You Fly



寄附協賛企業一覧 (五十音順) List of Corporate sponsors of CIE Japan

AISIN

株式会社アイシン
AISIN CORPORATION

AICHI STEEL

愛知製鋼株式会社
AICHI STEEL CORPORATION

総合教育
生涯学習機関 **ECC**

株式会社ECC
ECC Co., Ltd.

JTEKT

株式会社ジェイテクト
JTEKT CORPORATION

ANA

全日本空輸株式会社
All Nippon Airways Co., Ltd.

DAIKIN

ダイキン工業株式会社
Daikin Industries, Ltd.

DENSO

株式会社デンソー
DENSO CORPORATION

DOUTOR

株式会社ドトールコーヒー
Doutor Coffee Co., Ltd.

豊田合成

豊田合成株式会社
TOYODA GOSEI CO., LTD.

TOYOTA

トヨタ自動車株式会社
TOYOTA MOTOR CORPORATION

KYUSHU

トヨタ自動車九州株式会社
TOYOTA MOTOR KYUSHU, INC.

豊田自動織機

株式会社豊田自動織機
Toyota Industries Corporation

豊田通商

豊田通商株式会社
Toyota Tsusho Corporation

**TOYOTA
FINANCIAL SERVICES**

トヨタファイナンシャル
サービス株式会社
TOYOTA FINANCIAL SERVICES
CORPORATION

トヨタ紡織

トヨタ紡織株式会社
TOYOTA BOSHOKU
CORPORATION

NIFCO

株式会社ニフコ
Nifco Inc.

HINO

日野自動車株式会社
Hino Motors, Ltd.

**FKD | FUKADA
DENKI**

地球と手をつなぐ、電材カンパニー。
深田電機株式会社
FUKADA DENKI

FUJITSU

富士通株式会社
Fujitsu Limited

brother

ブラザー工業株式会社
BROTHER INDUSTRIES, LTD.

MS&AD 三井住友海上

三井住友海上火災保険株式会社
Mitsui Sumitomo Insurance
Company, Limited

SMBC 三井住友銀行

株式会社三井住友銀行
Sumitomo Mitsui Banking
Corporation

三菱商事

三菱商事株式会社
Mitsubishi Corporation

明治安田生命

明治安田生命保険相互会社
Meiji Yasuda Life Insurance Co.

森村豊明会

公益財団法人森村豊明会
MORIMURA HOUMEIKAI
FOUNDATION

東京海上日動火災保険株式会社 / パナソニック株式会社 / 矢崎総業株式会社
Tokio Marine & Nichido Fire Insurance Co., Ltd. / Panasonic Corporation / Yazaki Corporation

法人賛助会員一覧 Corporate member

明治安田生命保険相互会社
Meiji Yasuda Life Insurance Co.



公益財団法人ジョン万次郎ホイットフィールド記念
国際草の根交流センター

John Manjiro Whitfield Commemorative
Center for International Exchange

〒102-0083 東京都千代田区麹町 2-12-18 グランアックス麹町 602
TEL : 03-3511-7171 FAX : 03-3511-7175

GRAND AXE 602 2-12-18 Koujimach, Chiyoda-ku, Tokyo 102-0083, Japan
TEL : +81-03-3511-7171 FAX : +81-03-3511-7175
Email : manjiro@manjiro.or.jp URL : http://www.manjiro.or.jp